

ミャンマー

チャンギンセメント工場内鉄道輸送力増強事業



本事業により整備された鉄道

[借款概要]

承諾額/実行額	2,580百万円 / 2,580百万円
借款契約調印	1982年8月
借款契約条件	金利2.25%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1987年8月

[事業概要]

ミャンマー最大のチャンギンセメント工場の拡張に伴い増加する原料・製品輸送に対処するため、既存鉄道の電化を図り、電気機関車・貨車等を調達するとともに軌道の改良を行なうもの。

[評価結果]

本セメント工場の生産設備は、円借款により既存の800トン/日から1,600トン/日へと拡張された。同拡張事業は1985年に完成したが、本事業は、原料の石灰石を鉱山から工場に、製品をイラワジ河岸の積出港まで輸送するための鉄道（約20km）の輸送力を強化するものであり、同区間の電化工事と電気機関車（4両）、貨車（47両）等の調達、軌道の更新等が1986年に完成した。

本セメント工場は、1990年代を通じて年27～30万トン程度のセメントを生産し、国内需要への対応に寄与して来たが、既存工場の老朽化等もあり、総設備能力比では45%程度の生産実績に留まり、石灰石・セメントの鉄道輸送量も計画値の4～5割程度となっている。

また、電気機関車4両のうち1両は1991年に操作ミスによる脱輪事故のため使用不能となり、工場～積出港間についてはディーゼル機関車が使用されている。

なお、機関車等は調達から既に15年以上を経過しており、軌道の劣化も進んでいるため、今後の維持管理が重要である。